

安全・安心まちづくりNews 第205号

家庭で考えよう！我が家の安全ルール



自宅で子供だけが過ごす時間は、とても心配です。

事件、事故に巻き込まれないためにも、『我が家のルール』を話し合っ
て作ってください。ルールは押し付けるのではなく、なぜそのルールが必要なのかを
具体的に教え、子供に『危険を見極め、身を守る力』をつけてあげましょう。

もし誰かが来たら…

安全であるはずの自宅も、不審者の侵入を許してしまっ
た瞬間に危険な犯罪現場になってしまいます。

あなたの家庭はどんなルールを作りますか？

たとえば

- ドアを開けない。(チャイムが鳴っても出ない)
- カギをかけたまま対応する。
(チェーンもしておく)
- 家に子供だけであることを、悟られないようにする。『母は今、手が離せません』
- 不審者が業者を装う場合も。
『夜にもう一度きてください』

家のカギを持たせておくときは？

たとえば



- 家のカギは、人から見えないように持ち歩く。
- 錠を開けるときは、周囲を確認して素早く入り施錠する。
- 出かけるときは、『いつ、どこで、だれと、何時に帰る』と約束する。また、錠のかけ忘れがないかしっかり言い含める。
- 家の人がいなくても、家の中に人がいるように『ただいま！』と言って入る。
- カギの置き場所を、玄関マットや植木鉢の下にしない。

電話がかかってきたら…

電話に子供が出ると、大人がいない、と判断されることもあります。



電話に出る前

- ナンバーディスプレイを見て、知らない人からの電話には出ない。
- 留守番電話にしておく。
- 迷惑電話防止機能のある電話を導入する。
- 家族間で通じる合言葉を考えておく。
(身内になりすました電話の被害防止のため)

電話に出たとき

- 『母は今、手が離せないので、後でかけ直してください。』と言えるように、紙に書いて電話の近くに貼っておく。
- 話がしつこい場合は、すぐ切る。
名前や住所、家族構成等を教えると悪用される危険性があります。

もしものとき、どうすればよいかを具体的に教えておきましょう。

- 親にすぐ電話をする。
(連絡先が複数あると安心)
- 警察(110番)や家庭内、周辺で逃げ込める場所の確認や近所の●●さんを頼る。など

親が「どこにいる」「何時に帰る」等や連絡先(携帯番号)が子供にわかるようにしておきましょう。

